

令和5年度 NPO チャレンジプロジェクト実施報告

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | NPO チャレンジプロジェクト |
| 目的 | 大学生を対象とした NPO 法人での活動体験を通して、若者の NPO 活動への参加促進及び社会貢献活動への意識向上を図ることを目的とする。 |
| プログラム | <p>DAY 1 事前講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO に関する基礎講義 ・ ゲストトーク ・ ワークショップ (NPO 分野別の課題の洗い出し) <p>DAY 2 NPO 法人での活動体験 大学生と NPO 法人のマッチングを行い活動実施</p> <p>DAY 3 活動報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動を振り返るグループワーク ・ 今後の NPO 参加について考える個人ワーク ・ 個人ワークの内容を全体共有 |
| 開催日時 | <p>事前講義 令和5年8月30日(水)9時00分～12時00分</p> <p>活動体験 令和5年8月30日(水)～令和5年10月10日(火)</p> <p>活動報告会 令和5年10月11日(水)18時00分～20時00分</p> |
| 開催場所 | <p>事前講義 富山県防災危機管理センター研修室 3-C</p> <p>活動報告会 富山県庁共創スペースコクリ</p> |
| 参加人数 | 参加学生数 9名(富山大学5名、高岡法科大学4名) |
| 体験先 NPO 法人 | <p>えがおプロジェクト</p> <p>キッズアイ</p> <p>子どもの権利支援センターぱれっと</p> <p>たかおか共創ネット</p> <p>富山県砂防ボランティア協会</p> <p>富山県防災士会</p> <p>どんぐり山共同保育園</p> <p>はあとぴあ 21</p> <p>halea</p> <p>北陸青少年自立援助センター</p> |

事業内容

【DAY1】事前講義 8月30日(水)

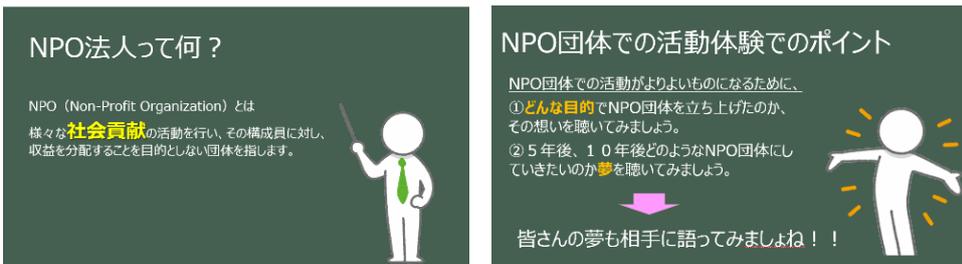
① プロジェクトスタート

県から挨拶、自己紹介

②NPOに関する講義～NPO 法人の基本のキ～

富山福祉短期大学ボランティアセンター長

社会福祉学科・講師 中村 尚紀 氏



NPO 法人とは何か、NPO 法人ができた経緯から富山県内の NPO 法人の状況まで基礎知識を講義いただきました。

③県からの説明

ボランティア・NPO 実態調査から見えた課題を基に、

- ・若者のボランティア・NPO への参加のきっかけづくり
- ・活動に参加したい、活動を必要としている人への情報提供
- ・平時からつながることの大切さ

について考えました。

④ゲストトーク

NPO 法人 halea

代表 福原 渉太 氏

学童保育を立ち上げた経緯や今後の活動についてお話いただきました。

学生からは「大学生アルバイトはどのような想いで働いているのか」

「なぜこんなに仲間が集まるのか」などの質問がありました。

⑤ワークショップ～NPO 分野別の課題の洗い出し～

体験先 NPO 法人の活動を 6 つの分野に分類し、課題を考え、全体で共有しました。

- (1)防災・地域安全活動
- (2)子育て支援・学童保育
- (3)中心市街地の活性化・にぎわい創出
- (4)いじめ不登校・ひきこもり支援、居場所・フリースクール

【DAY 2】NPO 法人での活動体験

学生が希望した NPO 法人と活動期間を調整の上、活動体験を行いました。
活動体験 DaySheet でその日の活動を振り返り記録しました。

■活動体験 DaySheet 内容

- ・今日実施したこと
- ・今日新しく気づいたこと、できたこと
- ・今日うまくいかなかったこと
- ・今の気持ち、感情
- ・今後学びたい内容、希望

【DAY 3】活動報告会 10月11日(水)

トークグラフィッカー 山口 翔太 氏

プログラム作成・ファシリテーション・グラフィックレコーディング

① 報告会スタート

県から挨拶、トークグラフィッカー山口氏の紹介

学生が2つのグループに分かれ自己紹介

トークグラフィッカー®
ワークショップデザイナー 山口翔太

トークグラフィック®(話し合いの可視化と問いかけ・振り返りで、会議や対話を進める技術)と
ワークショップデザインを用いて、**企業・行政・学校**
の場づくり・人づくりをサポートしています。

※青山学院大学履修証明プログラム修了ワークショップデザイナー

導入実績

NHK ハートフォーラム NEWS PICKS Microsoft × PFM WORKS NIPPON KOEI Urban Space

高山県 群馬県 滋賀県 富山市 氷見市 福知山市 高山県立氷見高等学校

メディア掲載

東京新聞 YAHOO! JAPAN ニュース BRUTUS

©2023 TALK GRAPHICER SHOTA YAMAGUCHI



②活動を振り返るグループワーク

個々で活動体験 DaySheet を読み返した後、振り返りシートで

①印象的な NPO 法人の取組・工夫

②NPO 法人の方々の想い

を記入し、グループで共有しました。



③自分のこれからの NPO 参加について考える個人ワーク

学生それぞれが、今後(学生期間中や卒業後)ボランティア・NPO 活動にどのように関わっていききたいか考えました。

自分の想いシート

①今後NPO・ボランティア活動にどう関わっていききたいか？

※学生期間中や学校卒業後の関わり方のイメージを考えてみよう(片方でも両方でもOK)



②なぜか？

※なぜ自分がそのような関わり方がしたいのか



④個人ワークの内容を全体共有・可視化

学生全員で円になり、③個人ワークの内容を共有しました。

学生ひとり一人が発表する時間を設け、山口さんとやり取りしながら、ボランティア・NPO 活動への想いを深堀りしました。



